

2018年1月9日
日立オートモティブシステムズ株式会社
クラリオン株式会社

自宅などの駐車場の周辺環境の記憶による高度な自動駐車技術 「Park by Memory」を開発

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO:関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)とクラリオン株式会社(取締役社長兼COO:川端 敦/以下、クラリオン)は、自宅駐車場の周辺環境を記憶する自動駐車技術「Park by Memory」(パーク・バイ・メモリー)を開発しました。今後、自動車メーカーなどへの提案を通じ、本システムの早期実用化をめざします。

近年、駐車時の操作ミスによる自動車事故が社会的な問題となっている中、人為的な操作によらない安全な自動駐車技術の早期普及に期待が寄せられています。こうした期待に応える技術として、利用頻度の高い自宅や職場などの駐車場への自動駐車を実現する「Park by Memory」を開発しました。本技術は、クラリオンの外界認識技術と日立オートモティブシステムズのステアリング、ブレーキなどのアクチュエーターおよび車両統合制御技術を連携させ実現しました。

「Park by Memory」は、車両の前後左右に装着したクラリオン独自のカメラシステム「SurroundEye®」*による俯瞰映像と、ソナー信号による周囲構造物の検知情報、さらにGPSによる位置情報を統合することで、駐車周辺環境と駐車パターンを記憶します。これにより、「Park by Memory」搭載車両は、記憶した駐車場に近づくと、自動駐車可能であることをドライバーに通知し、車内もしくはスマートフォンアプリのボタンをドライバーが押下する簡易な操作だけで自動駐車ができます。

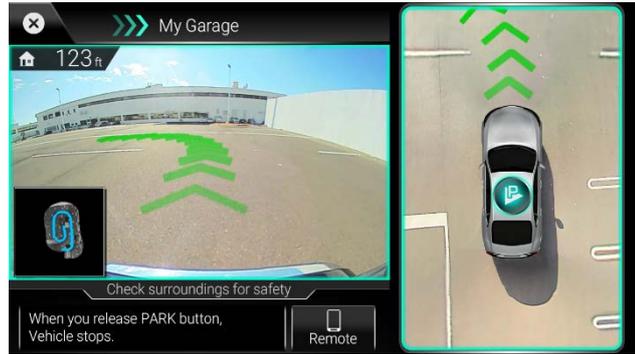
「Park by Memory」は、SurroundEye®による高精度な画像認識情報を活用するため、白線で区切られただけの駐車スペースをはじめ、さまざまな形状エリアでの任意の駐車スペースに自動駐車することができます。加えて、専用の位置情報システムではなく、一般的なカーナビゲーションのGPS情報が使えるため、早期導入が容易です。

日立オートモティブシステムズとクラリオンは、今後も先進の外界認識や車両統合制御技術による運転支援技術の開発を強化し、自動車メーカーが加速させている自動運転車両や自動駐車技術の開発を支え、早期の実用化に貢献していきます。

* SurroundEyeはクラリオン株式会社の登録商標です。



低速自動走行中のスマートフォン画面表示



低速自動走行中の車載機画面

■ 画像データのダウンロード

製品画像データダウンロードシステム「Clarion Data Bank」をご利用下さい。

Clarion Data Bank <http://www.clarion.com/jp/ja/corp/information/press/>

■ 会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

クラリオン株式会社

本 社： 埼玉県さいたま市中央区新都心 7-2

事業内容： 車載情報機器、自動車向けクラウド情報ネットワークサービス、セーフティアンドインフォメーション事業等の製品の開発、生産、販売およびサービス

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
